

たかはた 議会だより

No. **157**

令和4年10月20日号
発行／山形県高島町議会
編集／議会広報特別委員会



▲輪投げを楽しむ子どもたち（亀岡地区放課後子ども教室・かめともクラブ）

主な内容

- 定例会のあらまし …………… 2～3
- 委員会審議 …………… 4～7

- 一般質問 …………… 8～16
- 閉会中の所管事務調査……………17
- 私の思い……………18

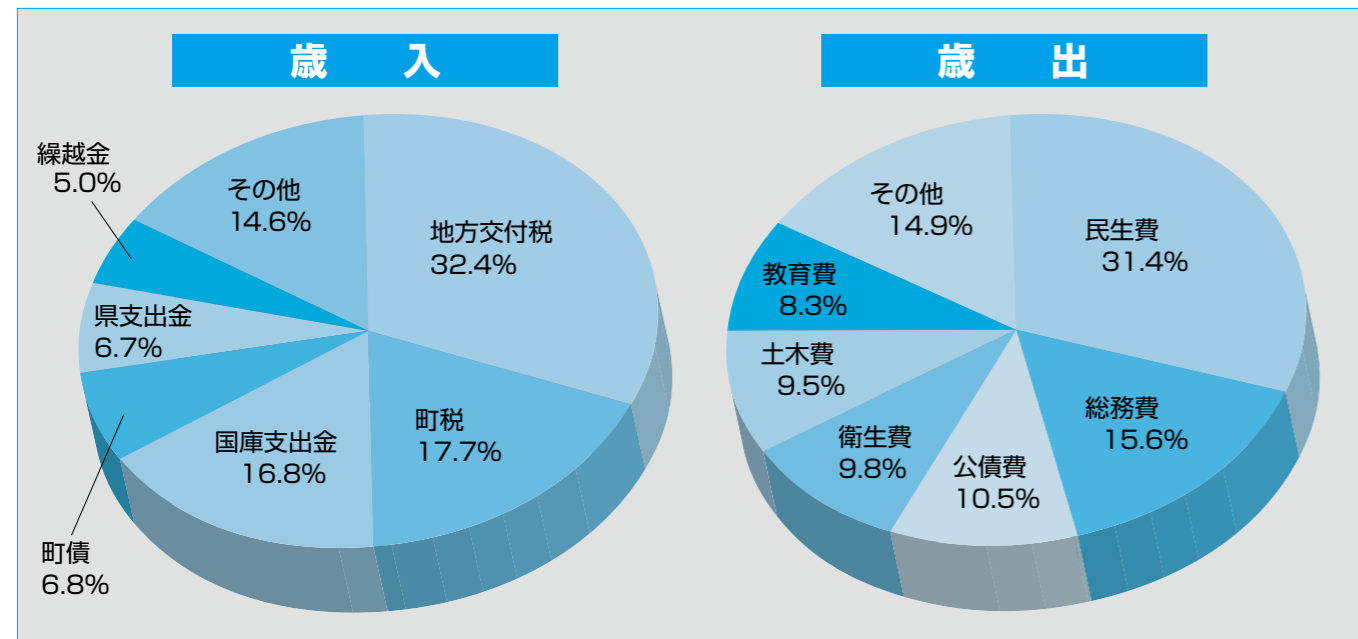
令和3年度の各会計決算を認定

新型コロナ対策・ふるさと納税・新庁舎建設など

一般会計及び
特別会計歳出の総額

188億4821万円

一般会計	歳入	132億5349万円	前年度比 9.15%減
	歳出	124億7396万円	前年度比 10.45%減



◆主な歳入

地方交付税	42億8931万円
町税	23億4646万円
町債	8億9571万円
県支出金	8億9346万円
繰越金	6億5731万円

◆主な歳出

民生費	39億1324万円 (子育て世帯へ臨時特別給付金など)
総務費	19億4640万円 (新庁舎建設整備など)
衛生費	12億1762万円 (放課後児童クラブ整備など)
土木費	11億8066万円 (町道・河川整備など)
教育費	10億3564万円 (タブレット端末整備など)

特別会計	歳入	66億2795万円
	歳出	63億7424万円
	介護保険	26億1644万円
	国民健康保険	25億6360万円
	下水道	7億6118万円

企業会計	病院 (純利益)	1億3127万円
	水道 (純利益)	8742万円

15日間にわたる9月定例会および臨時会(7月7日)を開催し、人事案件、令和3年度各会計の決算、令和4年度補正予算、条例の改正、財政状況の報告等について審査し、全て原案のとおり可決した。また8名の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開した。

人事

◆教育委員会委員の任命 同意
高 島 新野 かおり 氏

◆高島財産区管理会財産区管理委員の選任 同意
安久津 本田 和夫 氏
安久津 渡邊 一氏
高 島 森谷 由氏
高 島 本田 哲雄 氏
塩 森 遠藤 真二 氏

補正予算

◆令和4年度一般会計 (第4号) 1億3778万円追加 (第5・6号) 7億2054万円追加 5ページ

条例

◆附属機関設置条例の一部改正
◆職員の勤務時間休暇に関する条例の一部改正
◆職員の育児休業等に関する条例の一部改正など5件 以上6ページ

契約

◆スマートIC事業町道一本柳山崎線外道路改良工事
◆中央公園野球場スコアボード更新工事 以上7ページ

決算

◆令和3年度一般会計、特別会計、企業会計 計15件 4・5ページ

報告

◆令和3年度健全化判断比率 実質赤字比率 連結実質赤字比率 黒字のため比率なし

請願

◆みどりの食料システム戦略の推進と有機農業の拡大について 7ページ

決算特別委員会

令和3年度

一般会計

町たばこ税

健康志向、値上げと悪条件の下、増収となった要因は。

新型コロナウイルス感染症の影響で在宅時間が長くなり、消費本数が増えたものと思われる。

移住定住促進

事業の成果は。

熱中小学校関連事業で、大学生に冬の農作業を手伝ってもらい、将来的な移住定住につなげていく。大学生の斬新なアイデアが参考になることもあり、今年度は夏期

も受け入れることとなった。

婚活サポート

成婚率が50%と実績が上がっている。もっと認知度を上げるべきでは。

更なる成果をあげるべく婚活サポート制度を導入したが、引

き受け手が見つからない状況にある。広報、SNSを活用し婚活制度の周知を図っていく。

重点施策であるが、約半分の予算しか消化されていない理由は。

熱中小学校運営

将来的に自立する計画であるが、見込みは。

サテライトオフィス賃料のみの収入では自立は厳しい。様々な方策を模索していく。

NEXCO東日本に設計を委託し、料金ゲートの外側の設計費用を町で負担している。

子どもが対象であるため、コロナの影響で利用者が激減している。イベント、企画展等の参加者も少なく、苦勞している。来客を待つのではなく、外に出てひろすけ話を広める活動を計画している。

防災行政無線

管理経費が約600万円と多額であるが、特別な支出があったのか。

保守管理、電気代、電波使用料等の通常支出である。

特別会計

農業集落排水

工事請負費の執行率が約50%である理由は。

事故、故障等の不慮の対費に対応するものであり、使い切る性質の予算ではない。

特定地域生活排水処理

浄化槽の設置件数が年々減少傾向にあるが、その理由は。

子どもの居場所づくり支援

スマートーCランフ設計



移住定住促進・大人の社会塾

予算特別委員会

企業会計

高島病院

コロナワクチン接種による収益が多い。現在接種費用は国が負担しているが、個人負担となった場合、病院の収益に与える影響は。

国が払うか、個人が払うかの違いのみであり、人数が同じであれば病院収益は変わらない。

病床利用率が80%台に下がってしまった要因は。

コロナ患者対応のため、空床を確保したことが利用率低下の原因である。確保した空床については補償金が出るため、利用率低下が収益減少につながるものではない。

以上の案件は、全会一致で認定された。

令和4年度

補正予算

繰越金

繰越金が約6億円と、4年前より倍増している理由は。

繰越金は、財政規模の5%程度が適正とされているが、当町は10%程度となっている。今冬の大雪により、特別交付税が多く交付されたことで増えたものである。

重層的支援体制整備

具体的な事業内容は。

高齢者、障がい者、子どもなど支援が必要な方に対して、様々な枠組みを超えて連携し、

機能強化を図っていくものである。

保育士雇用

年度途中で雇用するのは、コロナ過で人材が不足したのか。

コロナ過とは関係なく、子育て支援全体として必要な人材を確保したものである。

寄付金の使途

株セスナーより寄付いただいた10万円の使途は。

すぶうん食堂、おちや子屋など、子どもの居場所を提供している団体に一律の補助をしていく。

道路整備経費



▲清掃ボランティア

調整池用地買収

鎌塚台の調整池整

道路の雑草や穴等の維持管理は補正で賄えるのか。

限られた一般財源で維持管理をしなくてはならず、状況は厳しい。道路の草刈りなどボランティアで協力いただいている。

地権者の了解を得ながら進めてきた。具体的な金額等は決まっていないため、地元関係者と話し合いながら進めていく。

以上の案件は、全会一致で可決された。

総務文教委員会

条例

子ども読書活動推進計画策定委員会の設置

◆附属機関設置条例の一部改正

「第2次高島町子ども読書活動推進計画策定委員会」の設置にあ



▲子どもの朝読書の様子（二井宿小学校）

たり、委員が非常勤特別職に該当するため、当該委員会を教育委員会の附属機関とするもの。

公布の日に施行

○今回は第2次であるが、第1次では附属機関とする必要はなかったのか。

○法改正により、第2次では附属機関とする必要が生じた。

職員の育児休業取得要件の改正

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

○職員の育児休業等に関する条例の一部改正

人事院勧告に従い、町職員（常勤職員、再任用職員、会計年度任用職員）の育児休業取得要件を改正するもの。

令和4年10月1日施行

土地、家屋の相続人申告の制度化

◆条例の一部改正

法令改正に伴ない、土地、家屋の所有者が死亡した場合、相続人（現所有者）の氏名、住所等を申告させるもの。不申告の場合、相続人に過料が科される。令和5年1月1日施行

○不申告であれば即座に過料を科せられるのか。また、過料の実績はあるのか。

○いままで過料の実績はない。今後も難しいと考える。

以上の案件は、全会一致で可決された。

産業厚生委員会

条例

屋代財産区の廃止

屋代財産区の廃止に伴い、関連条例より「屋代財産区」に関する記述を削るもの。区有財産は高島町へ寄付及び継承する。令和4年10月1日施行



▲屋代財産区所有の山林

◆屋代財産区の廃止に伴う関係条例の整理

令和4年10月1日施行

産業厚生委員会 現地調査

8月豪雨による被害現地調査

8月9日火に被害の大きかった蛇口地内の水田、大豆畑の現地調査を行った。

現地では、冠水し泥をかぶって収穫できなくなった大豆畑や、農道の砂利が農地に流れこんでいる様子が確認された。土地改良区で復旧を行う箇所もあったが、山形県や町の今後の対応、支援について説明を受けた。今回の水害の原因については、被害直後であるため、調査中であった。



▲冠水し、農道の砂利が流入した大豆畑

空き家バンク、危険空き家現地調査

6月17日金に地域で困っている危険空き家の現状、活用可能な空き家バンクに登録されている物件の現地調査を行い、町の対策について説明を受けた。

空き家の件数が470件を超え、地域で問題になっている家屋が増加しているため、今後の空き家対策について、委員で協議を続けている。



▲空き家バンクに登録されている物件

契約

スマートIC工事

◆スマートIC事業町道一本柳山崎線外道路改良工事請負契約の締結

スマートICの取り付け箇所について、町道の改良工事を行うもの。

契約金額

1億120万円

契約先

ヤマザキ建設(株)

スコアボード改修

◆中央公園野球場スコアボード更新工事請負契約の締結

老朽化した中央公園野球場のスコアボードを改修するもの。

契約金額

5720万円

契約先

羽山総合建設(株)

○工事中もグラウンドを使用できるのか。

○工事は来年度まで続くが、グラウンド内の工事ではないため使用は可能である。スコアボードは今よりも若干右側にずれる。

以上の案件は、全会一致で可決された。

請願

◆みどりの食料システム戦略の推進と有機農業の拡大について

請願者

高島町農民連 会長 鈴木 憲一 氏

紹介議員

菊地 英雄 議員 山本 由美 議員

請願内容

国が打ち出した2050年までに有機栽培面積を100万haに拡

大する「みどりの食料システム戦略」の推進を求めるもの。2050年までに目指す姿が多岐にわたって定められ、それを達成するためのロードマップは示されているものの、具体的な内容までは、確認できない状況であった。国の推進方策を確認した上で、願意が適切かどうか判断すべきではないかとの意見が委員全員から出された。当該戦略の詳細について、引き続き調査を行う必要があるため、継続して審査をすべきであるとの意見でまとまった。本案件は全会一致で継続審査と決定された。



伊澤良治 議員

危険家屋 住民による解体作業に支援を

町長 先進事例を参考に検討している

問 危険家屋を毎日見ている地域住民は「何とかならないか」「何とかせねば」という思いを持っており、地域の人たちが協働で危険家屋の解体に取り組む



▲住民の手で解体された危険家屋

事例もでてきている。地域住民による解体作業を支援する仕組みが必要ではないか。

答 鶴岡市で実施している住民自治組織への支援事例を参考としながら、課題等を含めた検討を行っている。

解体促進施策を

問 解体をしやすくするために解体補助金の

適応教室の 環境改善を

問 不登校生の通う適応教室は中央公民館の畳の部屋である。黒板も子どもの本一冊もない。学校では畳の部屋で生活していない。子どもにとって、適切な学びの場を検討すべきではないか。

答 必要があれば黒板のある部屋、インター

不登校生への 支援策は

問 不登校生の保護者どうしの語らいの場や不登校生を支援する民

ネット環境を使用した場合はホールや研修室、体を動かしたい場合には体育館というように、子どもの希望に合わせて活動場所を選択している。

問 団体との連携なども大切と考える。町の取り組みは。

答 学校では担任や相談員、スクールカウンセラーと定期的に教育相談を行うなどして、保護者支援を行っている。

民間支援団体からはこれまで協力を得てきた。今後も関係機関との連携を図っていく。



▲適応教室がある中央公民館

町政を問う

8名の議員が質問に立つ

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずめるものである。

※次ページからは一般質問の要約であり、詳しくはホームページをご覧ください。

- 伊澤良治議員 …………… 9
 1. 空き家対策
 2. 不登校児童生徒対策について
 3. 町内小学校のあり方について
 4. 加齢性難聴者への補聴器購入補助を
- 秋葉晶子議員 …………… 14
 1. 防災対策について
 2. 公共交通網の整備について
- 相田日出夫議員 …………… 15
 1. 新町長として
 2. 選挙の公約について
 3. 情報発信と時代の変化について
 4. 病児保育事業について
 5. 副町長人事について
- 島津正幸議員 …………… 16
 1. 2050年カーボンニュートラル(脱炭素社会)の実現を目指して
 2. 令和4年度高島町主要施策の進捗状況は
- 直島義友議員 …………… 10
 1. D I Yで始めるスマート農業の取り組みについて
 2. 現下における教育について
- 数馬治男議員 …………… 11
 1. 公共施設等総合管理計画について
 2. 空き家対策について
- 菊地英雄議員 …………… 12
 1. 大雨による次の災害に備えるために
 2. 「放課後児童クラブ」運営課題に積極対応を
- 山木由美議員 …………… 13
 1. 健康で長生きできる町、高島に
 2. まほろばの緑道に街灯設置を
 3. 中央公園内街灯点灯時間延長を

高島町議会動画配信 検索





数馬治男 議員

公共施設の管理計画 取り組みの成果や課題は

町長 計画どおりに実施できている

問 計画書に示すとおり、町立図書館の建設等、計画的に実施できた。公共施設を全体的に把握できるが、一定の期間で見直しを行うため、昨今のような社会情勢の影響による物価上昇などで事業費の把握が難しい。

答 国は財政負担を軽減、平準化し、公共施設の最適な配置を実現するため、各自治体に「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請した。当町でも平成28年に基本計画、30年に個別施設計画を策定し、これまで取り組んできた。これまでの取り組みの成果や教訓課題は。

問 今年度から使用中のハウスが古くなり、更新するタイミングも補助金が受けられるが、その内容と申請件数は。

答 ぶどう園等のハウス更新に係る主な補助要件としては、3戸以上の農業者で組織する団体（認定農業者等で組織する団体の場合は2戸以上の農業者）となっている。本年度は4戸の農家が申請を行っている。



問 学校のいじめが原因で自殺する子どもの報道が時々ある。学校が嫌だから、怖いからとの理由で、登校拒否となる生徒もいる。赤ちゃんは、愛されるために生まれてくるものであり、いじめられるために生まれてくる命は決してひとつもない。「いのちの教育」についてどう進めているのか。

答 いじめの未然防止の観点からも、自他のいのちを尊重する姿勢を育むことが重要であると考える。当町においては、20年以上前から小中全校で「いのちの教育」を実施している。様々な教科の学習や行事の中で、自分や友だちの命の大切さを

問 「公共施設等総合管理計画」では、亀岡地区公民館が令和6年度に、和田地区公民館



▲現在の亀岡地区公民館



直島義友 議員

DIYスマート農業の普及を

町長 実証実験の実施結果で判断する

問 本年度、町園芸振興協議会の事業としてIoT技術を活用した樹園地の温湿度管理デバイスによる実証実験を、町内4か所で実施中である。その評価等を踏まえ判断したい。

答 本年度、町園芸振興協議会の事業としてIoT技術を活用した樹園地の温湿度管理デバイスを、町内4か所で実施中である。その評価等を踏まえ判断したい。

「いのちの教育」 推進を

問 学校でのいじめが原因で自殺する子どもの報道が時々ある。学校が嫌だから、怖いからとの理由で、登校拒否となる生徒もいる。赤ちゃんは、愛されるために生まれてくるものであり、いじめられるために生まれてくる命は決してひとつもない。「いのちの教育」についてどう進めているのか。

答 いじめの未然防止の観点からも、自他のいのちを尊重する姿勢を育むことが重要であると考える。当町においては、20年以上前から小中全校で「いのちの教育」を実施している。様々な教科の学習や行事の中で、自分や友だちの命の大切さを



▲更新が急がれるぶどうハウス

果樹ハウス更新助成の申請状況は

問 今年度から使用中のハウスが古くなり、更新するタイミングも補助金が受けられるが、その内容と申請件数は。

答 ぶどう園等のハウス更新に係る主な補助要件としては、3戸以上の農業者で組織する団体（認定農業者等で組織する団体の場合は2戸以上の農業者）となっている。本年度は4戸の農家が申請を行っている。

実感できるような取り組みを計画的に行っている。

生徒の個性、能力を伸ばす教育を

問 生徒の個性や能力は必ずしも生徒数に左右されるものではないと考える。個性や能力を伸ばす取り組みは、どのようなものか。

答 大人から多様な関わりや刺激を効果的に受けられる環境を整えること、具体的な関わり方が大事であると考えている。教育活動のあらゆる場面で「自己存在感」を与えること、「自己決定の場」を与えること。そして「共感的な人間関係」を作ることにより、個性や能力を伸ばすことが可能であると考える。



菊地英雄 議員

水害防止に向け 排水門管理の徹底を

町長 国、県に適切な対応を要望する



▲主要河川に注ぐ箇所にある排水門

問 8月の大雨による被害要因では、排水路の水門操作も課題となった。県が管理する主要河川等でも、町は設置箇所を把握し、水害防止に向け関係機関と連携して対応すべき。現状と要望の考えは。

答 蛇口集落の被害に

ついては、鬼面川の増水に伴い集落南側に位置する排水路で越水が発生しており、水門操作が直接的な要因と確認されたものではない。当町の主要河川に係る水門については、国・県が管理しており、今後実態調査を行い適切な対応を要望していく。

放課後児童クラブ ブの定員超過

問 放課後児童クラブの利用希望者が増加傾向

向だが、各地区のクラブによっては受け入れ定員を超え利用できない児童もいるのでは。計画的な量的、質的拡充が必要ではないか。

答 中には定員に対して人数調整せざるを得ないクラブがある。十分な部屋数があれば支援員等の増員を考

えるが、老朽化等の課題がある施設もある。希望する全ての児童の受け入れが可能となるよう、施設の環境整備や支援員の拡充と確保に努めたい。

問 今年度から町は、法人格を持った全クラブに事業委託し運営している。希望者全員が利用できるクラブ等では、受け入れ児童の選考判断や調整の役割はどこがやるのか。

答 利用申し込みは各クラブで受けるが、必要があれば町とクラブ

児童支援員の 処遇改善を

問 児童支援員の重責ある専門性と労働実態に対して、処遇面と勤務の不規則が課題と言われる。国の臨時交付

及び運営法人で利用調整を行っている。クラブ間同士の情報連携も図りながら、同じ認識を持って、受け入れなどの十分な体制を整えたい。

問 運営法人への業務委託に合わせ、交付金を活用した給与ベースの引き上げを行っている。

しかし、不定期なシフトなど働く環境には引き続き課題があるため、臨時的な改善にとどまらず、継続した対応で担い手確保につなげたい。



▲放課後児童クラブでの野外活動



山木由美 議員

公園など 夜間でも運動できる対策を

町長 中央公園の利便性向上を図る

問 若い男性より「仕事が終わってからランニングをしている。緑道に街灯を」、そしてお母さん方から「家事が終わってから中央公園をお友だちで歩いている」との話を聞いた。生活時間の多様化で一人ひとりが都合をつけながら健康管理を行っている。夜間の防犯対策を講じながら安全に運動ができるようにとの町民の声をどう考えるか。

答 まほろばの緑道については、日中の利用を前提としており、夜間利用される際には、利用者個々に安全・防犯対策を講じてもらいたい。

「まほろば緑道」 の健康づくり

問 中央公園の街灯については、節電対策に配慮しながら、点灯時間を調整し利便性向上を図る。

答 当町は「グルTypeID」などの開催で、他市町村及び県外からサイクリストが集まってくる。当町には県内15のサイクリングロードのうち4コースがあり、まほろばの緑道が重要なコースとなっている。もっと町民に知ってもらい健康づくりに役立ててもらおうべきではないか。

問 まほろばの緑道でのレンタサイクル事業等により自転車を活用した観光地域づくりに永年取り組んでいる。観光振興に留まらず、健康づくりに向けた身近なツールとして、当町が誇るコースの周知

運動習慣者の 増加施策を

や利用普及を図る。

問 当町は「健康で長生きできる町」をめざして高島町健康増進計画「げんき高島21」を策定している。町民アンケートで70%の方が運動不足と感じている。この人たちにうまくアピールすることができれば運動習慣者を増やすことができる。昨年実施した「オクトーバーラン&ウォーク」自治体対抗戦でも良い成績を上げた

が、その後の状況はどうか。そして、今後の展開をどう考えて運動習慣者を増やしていくのか。

問 令和3年度から取り組み、現在まで約300名近い方々に参加いただいている。今後は参加登録へのPR強化や地区公民館活動への連携など、多くの町民が気軽に楽しく参加できる環境づくりを図っていく。

加齢性難聴者への 支援強化を

問 聴力低下で日常生活に支障をきたしている高齢者が増加し、認知症の大きな原因とも言われている。加齢性難聴者の閉じこもり防止や、外出支援など高齢者の生活や健康寿命を延ばしていくことが大切と思うが、どう考えているのか。

また、他自治体では加齢性難聴者への補聴器購入補助の支援が広がっているが、当町としての考えは。

問 高齢者の日常生活に影響がある障がい、聴覚障がいをはじめ数多く存在する。それらに対して、生活の質を確保するための総合的な支援が重要と考える。

身体障がい者手帳を所持しない加齢性難聴者の補聴器購入費に対する助成については、ニーズ把握に努め、検討していく。



▲まほろばの緑道で健康づくり



秋葉晶子 議員

交通弱者の町外への移動手段を進めるには

町長 具体的な事業計画が必要である

町長の公約でもあ
る置賜総合病院へのデ
マンド交通拡充の計画
は進んでいるか。
置賜総合病院だけに
捉われず、町外への移
動手段は広域で取り組
むものと位置づけ、置
賜各市町の首長へ働き
かけてほしいと思うが
どうか。
公共交通の広域化
については、置賜管内
各市町の共通の課題と
なっていることから、
共生ビジョンに盛り込
まれている。
現共生ビジョンでは
検討までとなっており
今後、具体的な事業計
画が必要であることか
ら機会を捉え働きかけ
る。

災害時の情報提供は

防災行政無線の設
置により様々なお知ら
せができるようになった。
難聴地域や高齢者
宅への戸別受信機の設
置状況は。
また、町の情報を受
け取る仕組みの普及は
どのように行われてい
るのか。

受信機設置の要望
があった46世帯に設置
を行った。
町からの情報は、こ
れら防災行政無線のほ
か、携帯電話のエリア
メール、町公式ホーム
ページ・フェイスブッ
クなど、あらゆる媒体
を使用して周知を行っ
ている。

自主防災組織への支援を

災害が日常的にな
りつつあり、連絡協議
会や、各集落の自主防
災組織をサポートする
仕組みづくりが急務で
ある。
防災意識の向上につ
ながる取り組みへの考
えは。
災害対応における
自助・共助の取組みは、
平常時の防災訓練や学
習会の開催による意識
高揚とスキルの向上が
重要である。
連絡協議会を中心に、



▲水防訓練に参加する二井宿小学校の子どもたち
～ できるかなあ もやい結び ～

避難弱者の避難対応は

高齢者、乳幼児、
障がいをもっている方
など社会的弱者の避難
対応への考えは。
また、福祉避難所へ
の避難誘導と備蓄品確
保の取り組みは。
地区の災害特性や実情
を考慮した取り組み方
など、地区公民館と連
携した支援を行っていく。
松風会、町旅館組
合との協定により避難
先を確保しているが、
受け入れ態勢は十分な
ものとは言えない。
対象となる要支援者
の個別避難計画を作成
しており、災害時に役
立てたい。また、国の
福祉避難所確保運営ガ
イドラインに沿って取
り組んでいく。

町長選挙戦「変えよう たかはた」 発信内容に修正や訂正はないか

町長 修正等の必要はないと判断している

町長選立候補に向
け、私人として発言や
印刷発行した内容に対
して、町長の立場で修
正や訂正の必要はない
のか。
一部、確認不足で
表現が曖昧だったとこ
ろがあったが、修正お
よび訂正の必要はない
と判断している。

選挙公約の 実施状況

学校給食の無償化
を公約に掲げ、すでに
実施している西川町と
の違いは何か。
対象となる児童、
生徒数の違いを感じる。
当町で実施する場合



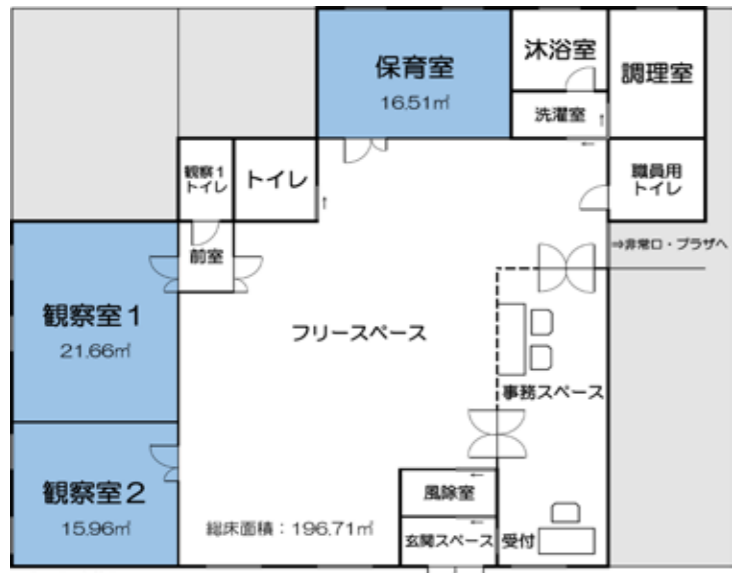
相田日出夫 議員

クラスター発生 防止の対策は

実態調査について
準備をしている段階で
あり、その結果から今
後の進め方も含めて検
討していく。
コロナ感染による
クラスター発生防止の
ための具体的な対策は
何か。
基本的な感染対策
に取り組んでいく以外
はなく、県の対策本部
で示している内容を確
認しながら進めて行く。

副町長人事

副町長の不在期間
が必要となる、約1億1
千万円の財源確保が困
難となっている。
デマンドタクシー
拡充に向けての調査結
果と今後のスケジュー
ル状況は。
実態調査について
準備をしている段階で
あり、その結果から今
後の進め方も含めて検
討していく。



▲総合交流プラザ内の病児保育間取り

SNSでの情報 発信の理由

町長がSNS等を
活用した理由は。
多くのトップが行政
活動等をタイムリーに
発信しているが、当選
を最後に更新が行われ
ない理由は。
現在利用している
フェイスブックは、選
挙運動を行うために、
後援会で作成し運用し
ていた。
私自身、操作方法を
熟知していないため更
新できていない。

病児保育所の 開所見込みは

3月の一般質問に
おいて、開所時期が10
月以降、12月頃の回
答に対して、現状の進
み具合は。
8月10日に施設整
備に係る交付金の内示
を受け、運営委託事業
所と実施設計業者を決
定し、具体的に着手し
ている。
しかし、建築資材等
の入手が困難であるこ
とから、予定よりも遅
れると想定している。



島津正幸 議員

地域新電力の設立計画は

町長 社会情勢を見ながら検討する

2050年カーボンニュートラル達成に向けて、エネルギーの地産地消、循環の仕組み構築の施策として、地域新電力の設立、運営の計画は。

電力と経済の地域循環を図るためには、地域新電力の設立が有効であるが、電力調達や売電先の確保、電力市場価格の高騰など課題も多いため、社会情勢を見ながら検討していく。

エネルギーマネージメントシステムの導入
エネルギーを効率よく使用するためのシ

システムである。その仕様は、工場、商業ビル、住宅と多種多様であるが、どのような手順で周知し展開するのか。

若者支援の 具体的構想は

まずは、公共施設において導入効果を検証し、企業や住宅などへの設備導入推進に向け、各種助成制度や、初期投資が不要なリース事業等を周知していきたい。

県と連携した町就職促進奨学金返還支援事業により、町内への居住、就業する方への奨学金の返還支援を行



▲公共施設に設置されたソーラーパネル（高島中学校）

ス数の拡大、返礼品への転換率、寄付単価の各々が向上するよう取り組んでいる。

少子化対策の 具体策は

重点施策として、婚活サポーターによる相談助言を行う体制づくり、そして、妊娠前から子育てまで切れ目のない支援の充実を図る、とあるがその具体策は。

希望者に結婚相談所の情報提供や仲立ちを行う結婚サポーターの募集を進めている。また、妊娠、出産に関する総合的な相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」を核として、様々なニーズに的確に対応した切れ目のない支援を行っていく。

ふるさと納税4億 円達成に向けて

地方の財政支援や

地方の財政支援や

閉会中の所管事務調査

（令和4年7月から8月までの調査）

総務文教

8月豪雨での排水 用ポンプの配置

2台とも糠野目鎌塚台に配置しないと間に合わない状況だったが、排水ポンプの増設が必要ではないか。

建設課と検証し、排水しきれない分は調整池を設置するよう検討している。また県のポンプも活用したいと考える。

避難者への 情報提供

一時避難した住民の、自宅周辺の情報提供はできているのか。

今後の自主防災会の研修課題として生かしていく。

適正規模適正配置の進み具合は。

亀岡小学校で漏水被害が出たが、通常の維持管理をしても雨漏りするものか。

通常は雨水のかからない箇所であるが、強い横風による吹き込みと、短時間の異常な雨量により雨漏りが発生した。

災害を踏まえての学校の施設点検は。

学校の施設点検は随時行っている。老朽化している学校が多いので予算に合わせ進めている。

産業厚生

クラスター対策

幼児施設での対策は万全か。

保健所業務が逼迫し、町と施設で対応している状況である。連絡を頻繁に取りなが

ら、休園措置も素早く対応し、健康観察や換気など基本的なことを徹底している。

プレミアム商品券

商工業を支援した

河川管理

大雨による被害を受けて、水門管理や河川内の立木などの防災対策は。

水害の要因は、支障木、ゲートの閉閉、バックウォーター現象などが重なっている。

県、土地改良区、地元と協議しながら進めていく。

産業の振興

物価高などで厳し

行政視察調査

議会運営委員会

- 8月3日 北海道栗山町 「議会基本条例の制定」
- 4日 北海道芽室町 「議会活性化に向けた取り組み」

総務文教委員会

- 7月11日 福岡県糸島市 「地域公共交通プロジェクト」
- 12日 福岡県筑後市 「移住定住促進施策」

産業厚生委員会

- 7月20日 宮崎県新富町 「地域商社による地域活性化」
- 21日 鹿児島県湧水町 「空き家対策」「林業振興」

高畠をウイスキーで盛り上げたい

今から8年前のこと。私の人生史上最大の出来事が起こりました。そう、ウイスキーとの出会いです。

それまでの私にとって、ウイスキーなんていわば“ジジイの飲み物”。アルコールがキツくて、飲めたもんじゃありませんでした。そんな私がウイスキーの魅力に気付いたのは、お隣宮城県のニッカウヰスキー宮城峡蒸溜所に行った時のことです。

その時に飲んだ“竹鶴21年”。私が知っていたウイスキーとはまるで違う、蜂蜜のような甘い香り。約2時間の帰路中、ずっと続く余韻。当時21歳の私にとって、そのウイスキーとの出会いは運命だと感じざるを得ませんでした。それから私は、いろんなウイスキーを知っていくことになります。

特に私にとっての大きなターニングポイントは、山形市のウイスキー専門のBARで、マスターが私に出してくれたウイスキー。「こんな飲み物があるのか!?’と、その香りに衝撃を受けました。そんな幾つもの出会いが、私をもっとウイスキーの世界へ吸い込んで行きました。

そんな私は現在、会社員の傍ら^{かたわ}バーテンダーとして活動しています。イベント出店、飲食店とのコラボ営業、最近では独自イベントも企画し、You Tubeな

どSNSでの発信もしています。将来的には、愛する地元高畠をウイスキーで盛り上げたいと思っています。

私が1番好きな町で、1番好きなウイスキーの魅力伝えたい! そんな場所を作ることが私の目標です。今年高畠町深沼の八坂神社のお祭りや、屋代地区公民館の夏祭りにも出店しました。まだ私を知らない町民の方に自分をもっと知ってほしいです。そのために、これからも様々な場所に「山形県高畠町の駆け出しバーテンダー BARMAR」という名前で突撃したいと思います! ぜひ会いに来てください。



▲屋代地区の夏祭りにも出店



Instagram



動画サイト

委員長
副委員長
委員

編集委員

秋平 鏡伊 菊地
平澤 葉
善品 良英 陽
誠子 弘治 雄介

12月定例会を傍聴しませんか

12月9日(金)~21日(水)までの予定です

議会事務局 TEL 52-4485

(気軽にお問い合わせください。)

